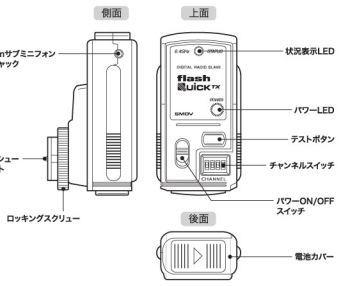
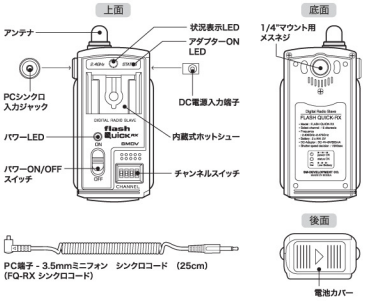
各部の名称　トランスミッター（カメラ側）



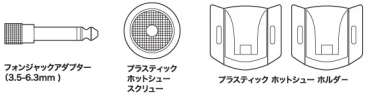
PC端子 - 2.5mmサブミニフォン　シンクロコード　(20cm)
(FQ-TX シンクロコード)

各部の名称　レシーバー（ストロボ側）



PC端子 - 3.5mmミニフォン　シンクロコード　(25cm)
(FQ-RX シンクロコード)

その他の同梱品とその名称

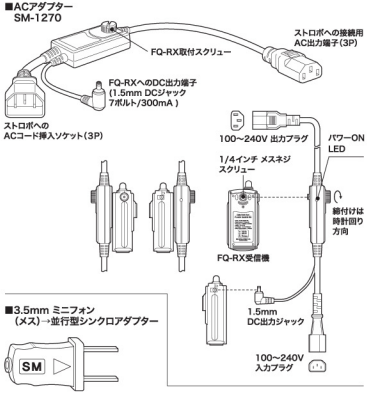


フォンジャックアダプター
(3.5-6.3mm)

プラスティック ホットシュー スクリュー

プラスティック ホットシュー ホルダー

オプション



ご注意
- **このアダプターを、決して家庭用コンセントに差し込まないで下さい。**
- **このアダプターは、ストロボ側のシンクロ接点が平行タイプの場合のみ、レシーバーに接続した3.5mmミニフォンシンクロコードの先端に差し込んで使用して下さい。**

ユーザーガイド

1.トランスミッター後部のバッテリーカバーを→の方向にスライドさせて電池ボックスを開いて下さい。

2.トランスミッターに単3形アルカリ乾電池を2本挿入して下さい。
（電池挿入口のイラストに従って電池の向きを合わせて挿入して下さい。）

3.トランスミッターをカメラのホットシューに取り付けて下さい。
（もしカメラにホットシューが無い場合には、「PC端子 - 2.5mmサブミニフォンシンクロコード」を利用してカメラとトランスミッターを接続して下さい。）

4.レシーバー後部のバッテリーカバーを→の方向にスライドさせて電池ボックスを開いて下さい。

5.レシーバーに単3形アルカリ乾電池を2本挿入して下さい。
（電池挿入口のイラストに従って電池の向きを合わせて挿入して下さい。）

6.レシーバーとストロボを下記の二つの方法のどちらかにより、適切に接続して下さい。
a) レシーバーに付属している「PC - 3.5mmミニフォンシンクロコード」のPC端子をレシーバーのPCシンクロ入力ジャックに差し込み、コードの反対側の3.5mmミニフォンジャックをストロボのシンクロ端子に接続して下さい。
ストロボ側のシンクロ端子が6.3mmのフォンジャックの場合には、付属の3.5mmミニフォン（メス）→6.3mmフォンジャック アダプターを差し込んでストロボと接続して下さい。
b) クリップオンストロボの場合には、レシーバーと上部のホットシューに直接取り付けて下さい。

7.トランスミッターとレシーバーの電波周波数チャンネルを同じ位置にセットして下さい。(1-15ch)

8.トランスミッターとレシーバーの電源を入れて下さい。

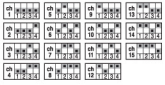
9.トランスミッターのテストボタンを押すと、レシーバーとシンクロしていることを確認することができます。
トランスミッターとレシーバーの状況表示LEDが点灯すると、双方がシンクロしている状態です。
トランスミッターとレシーバーのパワーLEDは、電源ON状態では点滅を続けます。

10. バッテリーをセーブするためには、トランスミッターとレシーバーの電源を切って下さい。

11.電池をセーブするため、トランスミッターは5分で、レシーバーは60分で、オートスリープモードに入るよう設定されていますので、撮影本番前にはテスト発光させてからご使用下さい。

周波数チャンネルを変更する

フラッシュクイックラジオトリガーキットは、15チャンネルの周波数をセットできます。トランスミッターとレシーバーは、同じチャンネルにセットして〇利用下さい。チャンネルを変更する場合は、下記の手順に従って変更して下さい。



1.最初にトランスミッターとレシーバーの主電源を、切って下さい。

2.トランスミッターとレシーバーの周波数チャンネルを同じチャンネル状態に設定して下さい。
（右の表記に従ってチャンネルを設定して下さい。）スイッチが全て上側の位置は設定が無いので、誤作動を起こす可能性があるので、使用しないで下さい。

3. トランスミッターとレシーバーの主電源を入れて下さい。

カメラのセッティング

フラッシュクイック・ラジオトリガーセットは、ストロボ内蔵のTTL調光機能を生かした撮影はできません。
また、このユニットは、カメラのライブビューモードでは操作ができませんのでご注意下さい。
上記の利用により、カメラは、マニュアルモードにセットしてご使用下さい。

ACアダプター(SM-1270) を利用して電源を供給する場合の手順

FQ-RX受信機は、オプションのACアダプター（SM-1270）を利用してAC電源から必要な電力を、供給することができます。ACアダプターを利用する場合には、下記の点にご留意下さい。

1.ACアダプターを裏返している1/4"スクリュー をFQ-RX受信機裏側のネジ穴にねじ込んでFQ-RX受信機を固定して下さい。

2.ACアダプターから出ているDC出力コードをFQ-RX受信機右上のDC電源入力端子に接続して下さい。

3.使用するストロボからACコード(3P)を抜いて下さい。

4.抜いたACコードをACアダプター（SM-1270）のAC入力ソケットに差し込んで下さい。

5.ACアダプター SM -1270から出ているACコードを使用するストロボに接続して下さい。

6.FQ-RX受信機に付属しているPC - 3.5mmミニフォンシンクロコードのPC端子をFQ-RX受信機のPCシンクロ入力ジャックに差し込み、コードの反対側をストロボのシンクロ端子に接続して下さい。

ストロボ側のシンクロ端子が6.3mmのフォンジャックの場合には、付属の3.5mmミニフォン（メス）→6.3mmのフォンジャック アダプターを差し込んでストロボと接続して下さい。

ご注意　**●ACアダプターを使用する場合には、FQ-RX受信機のバッテリーコンパートメントから電池を取り外して下さい。**

その他

注意1：付属のプラスティックホットシュースクリューとプラスティックホットシューホルダーを利用してFQ-RX受信機をお好きな場所に固定することができます。
FQ-RX受信機に付属のプラスティックホットシュースクリューをねじ込み、プラスティックホットシューホルダーを取付け、裏面のシールを剥がして任意の場所に貼り付けて下さい。
ストロボの側面に取り付けることをお薦め致します。本体は、取り外しも自由にできます。

注意2：シンクロシャッター速度と同調可能距離は、電波の反射状況や障害物の状況により異なります。
トランスミッターとレシーバーは、大きな丘の上や、コンクリート路面、金属の多い場所を避けてセットして下さい。また、トランスミッターとレシーバーの間の障害物を取り除いて下さい。最長到達距離を稼ぐためには、トランスミッターとレシーバーを障害物の無い状態で一直線になる状態が理想的です。
また、トランスミッターとレシーバーは、出来る限り、地面から1m以上離れた位置でご利用下さい。

トラブルシューティング

1.レシーバーの電源スイッチがON状態で、パワーON/OFF LEDが点滅しない。
➡ 次の点を確認して下さい。
- **電池の電極がまちがっていないか確認して下さい。**
- **電池の残量が十分あるか確認して下さい。（電池を新品に交換してみて下さい。）**

2.トランスミッターのテストボタンを押しても、レシーバーの状況表示LEDが点灯しない。
➡ 次の点を確認して下さい。
最初に、トランスミッターとレシーバーのメイン電源をOFFにして下さい。
- ●カメラ、ストロボ双方のセッティングが｢マニュアルモード｣になっていることを確認して下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーの周波数チャンネルが同じ位置になっているか確認して下さい。

3.トランスミッターのテストボタンを押した時、レシーバーの状況表示LEDは点灯するがストロボが発光しない。
➡ 次の点を確認して下さい。
- ●ストロボからシンクロコードを抜いた状態で、ストロボが正常に発光するかどうか確認して下さい。
- ●カメラ側とストロボ側の全ての接続部分が確実に接続されているかどうか確認して下さい。
もし、ストロボのシンクロ電圧が300Vを超えている場合には、レシーバーは正常に発光しません。
- ●FQ－RX受信機の最大許容入力電圧は、300Vまでとなっています。もし、レシーバーを分配コードを利用して2台のストロボに接続している場合には、2台のストロボのシンクロ回路のｴｰﾄﾞの極性と電圧に相違がないか確認して下さい。(同メーカー、同機種の場合除く。)
- ●ストロボのメーカーが違う場合には、それぞれのユニットが適切に発光しない場合があります。
カメラ側は、トランスミッターとホットシューの接触状態を確認して下さい。接続状況が悪い場合には、ホットシューに接続するべくわりに付属のシンクロコードで接続してみて下さい。

4.トランスミッターの状況表示LEDは、トランスミッターのテストボタンを押した時に一瞬赤く点灯しますが、カメラのシャッターを押した場合に、トランスミッターの状況表示LEDが点灯しない。
➡ 次の点を確認して下さい。
- ●トランスミッターをカメラのホットシューから外して下さい。
- ●トランスミッターとカメラを「PC端子 - 2.5mmサブミニフォンシンクロコード」で接続して下さい。

5.トランスミッターのテストボタンを押していないのに、ストロボが連続的に発光してしまう。
➡ 次の点を確認して下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーの接続コードを、カメラとストロボから一度抜いて、差し直してみて下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーの周波数チャンネルをそれぞれ同一の他のチャンネルに設定して下さい。
- ●カメラとストロボがそれぞれ「マニュアルモード」に設定されているか確認して下さい。

6.電波到達距離が短かすぎる。
➡ 次の点を確認して下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーの間にある障害物（金属やコンクリート、丘、水）を避けて下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーの位置を上記障害物から遠ざけられる位置に移動させてみて下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーの向きを平行状態に置いてみて下さい。
- ●トランスミッターとレシーバーを地面から1m以上上側にセットして下さい。

トランスミッターやレシーバーの位置を変えてみることにより、電波到達距離を改善することができます。

仕様

周波数帯：2.405-2.475GHz　　15チャンネル

最速同調シャッター速度：1/200秒(カメラにより相違がありますので、撮影前にテストして下さい)

最長操作可能距離：通常50m (最長60m)

トランスミッターのシンクロ電圧：3ボルト

レシーバーの許容シンクロ電圧(ストロボシンクロ回路からの電圧)：300ボルト

トランスミッターの電源：単3形アルカリ電池x2本（※）

オートスリープモード機能付(5分間未使用の場合は自動的に電源OFF状態に戻ります。)
スリープモードから再起動する場合には、一度テストボタンを押して下さい。

レシーバーの電源：単3形アルカリ電池x2本（※）

オートスリープモード機能付(60分間未使用の場合は自動的に電源OFFになります)
スリープモードから再起動する場合には、主電源スイッチを一度OFFにしてから再度ON側へスライドさせて電源を入れて下さい。

操作可能温度：－20度～50度

※電池は別売です。

日本電波法(2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム技術)　**認証番号：005WWCA0208**
このデバイスはTELECにてテストされ、日本電波法に適合し、使用を認可された商品です。

操作機能に影響を与える可能性のある環境

■長い金属物質　■高周波電線　■コンクリート　■大きい土手や丘

〈製品保証について〉
製造に当たり万全を期しておりますが万が一品質上の欠陥により故障や破損を生じた場合、弊社保証規定に基づいて保証いたします。保証期間は製品ご購入日より1年間となります。製品が取扱説明書記載の通常の使用方法により、正常に動作しなくなった場合は、弊社の判断で無償修理または同等品との無償交換対象といたしますので、お買い求め時のレシート、配送伝票などご購入日を証明できるものは大切に保管して下さい。取扱説明書に従ないない使い方をされたと判断される場合や、製品を改造または、弊社以外で修理されたと判断される場合など、保証期間内でも保証規定の適用外となり、必要に応じた有料修理となる場合がありますのでご了承下さい。
※落下して発生した故障は、保証の対象にはなりません。　※本保証は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせは、下記輸入代理店へご連絡下さい。
日本総輸入代理店
KPI
株式会社 ケンコープロフェショナルイメージング
〒161-0031　東京都新宿区西落合3-9-19
TEL 03-5988-7358　FAX 03-5988-7354

DIGITAL RADIO SLAVE
flash Quick
取扱説明書

Advanced technology for the smart Photographer